

総務委員会資料

所管事務の調査（報告）

「川崎再生フロンティアプラン」第3期実行計画 実施結果について

資料 1 「川崎再生フロンティアプラン」第3期実行計画実施
結果について

資料 2 「川崎再生フロンティアプラン」第3期実行計画実施
結果について（総合企画局）

参考資料 1 川崎臨海部 全体図

参考資料 2 羽田空港周辺の土地利用計画

別冊資料

- ・「川崎再生フロンティアプラン」第3期実行計画実施
結果総括（1）
- ・「川崎再生フロンティアプラン」第3期実行計画実施
結果総括（2）

平成26年8月27日
総合企画局

「川崎再生フロンティアプラン」第3期実行計画実施結果について

1 趣旨

「川崎再生フロンティアプラン」第3期実行計画期間（平成23年度～平成25年度）の取組について、事務事業の点検結果や施策評価の結果を取りまとめるとともに、「川崎市政策評価委員会」からいただいた改善意見等を取りまとめました。

2 『「川崎再生フロンティアプラン」第3期実行計画実施結果総括（1）』の概要

第1章 「川崎再生フロンティアプラン」の取組

1 「川崎再生フロンティアプラン」の役割と構成 <冊子（1）3頁>

「川崎再生フロンティアプラン」（以下「フロンティアプラン」という。）は、市政運営の基本方針として、平成17年3月に策定したもので、基本構想と実行計画の2層で構成されています。

2 フロンティアプランの進行管理と評価 <冊子（1）4頁>

実行計画については、PDCAのしくみである「川崎再生ACTIONシステム（事務事業総点検・施策評価）」により、効果的な施策執行と課題解決を図り、フロンティアプランの進行管理を行ってまいりました。

3 第3期実行計画の実施結果 <冊子（1）5頁>

第3期実行計画期間においては、計画策定後に生じた様々な社会経済環境の変化に対応するため、必要に応じて計画の見直しを行い、課題の解決に向けた取組を推進しました。その結果、第3期実行計画の取組は、「川崎再生ACTIONシステム」による「事務事業の達成状況」及び「施策評価結果」から、概ね計画どおり達成・進捗しました。

第2章 事務事業・施策課題の取組及び川崎市政策評価委員会の検証結果

1 事務事業・施策課題の概要 <冊子（1）11頁>

フロンティアプランでは、基本構想で示した7つの基本政策ごとに、施策課題の現状と課題を明らかにし、施策課題の解決に向けて取り組む施策に対応する事務事業については、取組内容、現状及び計画期間内の目標を示しています。

各施策課題は、配下の事務事業の実施を通じて、課題を解決する施策が推進される関係にあることから、事務事業の達成状況の評価を行うとともに、その結果を踏まえて施策評価（課題解決に向けた施策の推進状況に対する評価）を行いました。

2 第3期実行計画 事務事業の達成状況 <冊子（1）12頁>

フロンティアプランの基本政策に位置付けられた926の事務事業について、第3期実行計画期間における達成状況を総括すると、計画策定当初の目標から変更することなく推進しているのは783あり、この中で目標を下回ったものが5（0.5%）ありましたが、目標を上回って達成、または、目標をほぼ達成したものが778（84.0%）あり、全体としては順調に進捗しました。

一方で、東日本大震災をはじめとする自然災害の発生等による公共工事への影響や、社会経済環境の変化により関係機関との調整が生じたことなどから、計画策定当初の目標から変更し、または計画策定後に新設された事務事業が併せて143（15.4%）あり、このうち4（0.4%）が目標を下回りましたが、139（15.0%）が目標をほぼ達成しました。

達成状況区分	内 容	事務事業数	構成比(%)
I	目標を大きく上回って達成	1	0.1
II	目標を上回って達成	13	1.4
III	目標をほぼ達成	764	82.5
IV	目標を下回った	5	0.5
V	目標を大きく下回った	0	—
当初目標から変更していない事務事業の小計		783	84.6
II*	計画策定当初とは異なる目標を上回って達成	1	0.1
III*	計画策定当初とは異なる目標をほぼ達成	138	14.9
IV*	計画策定当初とは異なる目標を下回った	4	0.4
当初目標から変更した、または新設の事務事業の小計		143	15.4
合 計		926	100

778 (84.0%)

139 (15.0%)

917 (99.0%)

（注）達成状況区分に「*」が付いているものは、計画期間中に目標を変更または事務事業の新設により、計画策定当初とは異なる目標に対する達成状況区分となります。

※構成比については、単位未満を四捨五入しているため、合計数値等が一致しない場合があります。

参考：当初目標から変更した121の事務事業について、当初目標に対する達成状況を分析すると次のとおりです。

達成状況区分	内 容	変更後の 目標達成状況	構成比 (%)	当初目標に対する 達成状況	構成比 (%)
I	目標を大きく上回って達成	0	—	1	0.1
II	目標を上回って達成	1	0.1	8	0.9
III	目標をほぼ達成	116	12.5	82	8.9
IV	目標を下回った	4	0.4	26	2.8
V	目標を大きく下回った	0	—	1	0.1
VI	当初目標との比較が困難等	—	—	3	0.3
合 計		121	13.1	121	13.1

91 (9.8%)

3 第3期実行計画 施策評価結果 <冊子(1)15頁>

第3期実行計画に位置付けられた261の施策課題について、計画期間の3か年における施策評価を行った結果、施策が推進していないものはなく、すべての施策課題は、「施策の目標」の実現に向けて、施策が概ね順調に推進しました。

内訳としては、施策が順調に推進したものが253(96.9%)、そのうち新たな課題等がないものは40(15.3%)、新たな課題等があるが、今後も現在の取組の継続等により対応できるものは213(81.6%)ありました。一方、施策が一定程度推進したものの、新たな課題等があり、計画の見直し等が必要なものが8(3.1%)ありました。

評価区分	内 容	施策課題数	構成比(%)
A	I ●「施策の目標」の実現を阻害するような新たな課題や残された課題等はなく、「施策の目標」に向かって順調に進捗している場合	40	15.3
	II ●新たな課題や残された課題等があるが、「施策の目標」の実現を阻害するようなものではなく、今後も現在の取組の継続又は一部改善により対応できる場合	213	81.6
B	施策が一定程度推進したもの ●新たな課題や残された課題等があり、「施策の目標」の実現に向けて、計画の見直しや取組の改善が必要な場合 ●施策課題の配下の主要な事務事業で、新たな課題等があり目標を下回ることなどにより、課題解決が一定程度に留まり取組の見直しが必要な場合	8	3.1
C	施策が推進していないもの ●前提としていた諸条件(法制度等)が大きく変化し、取組内容の抜本的な見直しを行わなければ、「施策の目標」の実現が困難な場合 ●施策課題を構成する主要な事務事業が、新たな課題の出現により大幅に遅れ、または、対応困難なものとなるなど目標を大きく下回ることとなり、施策課題の解決に向け停滞している場合	0	—
合 計		261	100

253
(96.9%)

4 施策評価に対する川崎市政策評価委員会の検証結果 <冊子(1)17頁>

全体としては、「施策進行管理・評価票」の記載内容について、フロンティアプランの適切な進行管理や市民への説明責任を果たしていくという目的に向かって、概ね適正な取組が行われていると認められました。

一方、「施策進行管理・評価票」の記載内容のうち、分かりやすい記述に改める必要があると思われる事例も一部に見られましたので、改善意見をいただくとともに、今後の取組の方向性が示されました。

(意見1) 行政課題・取組内容・目標の一層の明確化と相互の論理的な関連性の担保、目標設定における成果指標の効果的な活用、中間目標の設定等による取組の進捗状況の適切な把握

(意見2) 情報を市民に分かりやすく提供するため、市の取組の結果を要約した小冊子等を作成し、市民が情報をより入手しやすいようにするなどの一層の工夫

(意見3) 市の取組に関する評価制度について、成果指標の活用や事業の重要性・性質に応じた評価手法を検討することなど、より効率的・効果的で、市民目線を意識した分かりやすい仕組みとするための見直しの実施

3 公表スケジュール及び市民意見の募集について

平成26年8月27日(水) 議会(総務委員会)報告、報道発表
 平成26年9月1日号 市政だよりに掲載
 平成26年9月2日(火) 区役所、情報プラザ等での閲覧、市ホームページに掲載
 平成26年9月1日(月)～10月31日(金) 意見募集期間

参考資料 第1期・第2期実行計画における実施結果 <冊子(1)33頁>

本市では、これまでに第1期実行計画(平成17年度～平成19年度)、第2期実行計画(平成20年度～平成22年度)においても、事務事業及び施策課題に対し着実に取り組み、次のような実施結果を残してきました。

<第1期実行計画期間に対する事務事業の達成状況>

達成状況区分	内 容	事務事業数	構成比(%)
I	目標を上回って達成したもの	64	6.4
II	目標をほぼ達成したもの	880	87.6
III	目標を下回ったもの	54	5.4
IV	当初目標と比較できないもの	6	0.6
合 計		1,004	100

944
(94.0%)

<第1期実行計画期間に対する施策評価結果>

評価区分	内 容	施策課題数	構成比(%)
A	順調に目標に向かって、課題解決が図られている施策課題(社会環境の変化や課題解決を阻害する要因、新たな課題等の発生がないもの)	182	71.4
B	一定の成果はあるものの、課題が残されている施策課題(社会環境の変化や課題解決を阻害する要因、新たな課題等があるもの)	73	28.6
C	課題解決が図られていない施策課題	0	—
合 計		255	100

<第2期実行計画期間に対する事務事業の達成状況>

達成度区分	内 容	事務事業数	構成比(%)
I	目標を大きく上回って達成	0	—
II	目標を上回って達成	14	1.5
III	目標をほぼ達成	748	82.0
IV	目標を下回った	7	0.8
V	目標を大きく下回った	0	—
II*	変更後の目標を上回って達成	2	0.2
III*	変更後の目標をほぼ達成	137	15.0
IV*	変更後の目標を下回った	4	0.5
合 計		912	100

901
(98.8%)

<第2期実行計画期間に対する施策評価結果>

評価区分	内 容	施策課題数	構成比(%)
A	目標に向かって順調に課題解決が図られているもの	116	43.9
B	目標に向かって一定の成果が上がっているもの(新たな課題等が生じているものの、現在の取組を継続していくことで対応できるもの)	142	53.8
C	課題解決が不十分で取組の改善が必要なもの(一定の成果はあるものの、新たな課題等が生じており、取組の改善が必要なもの)	6	2.3
D	課題解決が図られていないため、抜本的な見直しが必要なもの	0	—
合 計		264	100

「川崎再生フロンティアプラン」
第3期実行計画実施結果について（総合企画局）

1 趣旨

「川崎再生フロンティアプラン」第3期実行計画実施結果として、総合企画局の施策評価結果を取りまとめました。

2 「川崎再生フロンティアプラン」第3期実行計画実施結果（概要）

1 政策体系に位置付けられた施策課題の実施結果

第3期実行計画に位置付けられている242の施策課題（再掲の19課題を除く。）のうち、総合企画局が所管する施策課題は8課題あり、それらについて、実行計画期間における施策の推進状況の評価を行った結果、どの施策課題も、「施策の目標」の実現に向け、施策は概ね順調に推進したという評価となりました。

内訳としては、施策が順調に推進したものが5課題、そのうち新たな課題等がないものは2課題、新たな課題等があるが今後も現在の取組の継続等により対応できるものは3課題ありました。一方、施策が一定程度推進したものの、新たな課題等があり、計画の見直し等が必要なものが3課題ありました。

表 達成状況区別 施策課題数と構成比（総合企画局）

評価区分	内 容		施策課題数	構成比(%)
A	【施策が順調に推進したもの】	I ●「施策の目標」の実現を阻害するような新たな課題や残された課題等はなく、「施策の目標」に向かって順調に進捗している場合	2	25.0
		II ●新たな課題や残された課題等があるが、「施策の目標」の実現を阻害するようなものではなく、今後も現在の取組の継続又は一部改善により対応できる場合	3	37.5
B	【施策が一定程度推進したもの】 ●新たな課題や残された課題等があり、「施策の目標」の実現に向けて、計画の見直しや取組の改善が必要な場合 ●施策課題の配下の主要な事務事業で、新たな課題等があり目標を下回ることなどにより、課題解決が一定程度に留まり取組の見直しが必要な場合		3	37.5
C	【施策が推進していないもの】 ●前提としていた諸条件（法制度等）が大きく変化し、取組内容の抜本的な見直しを行わなければ、「施策の目標」の実現が困難な場合 ●施策課題を構成する主要な事務事業が、新たな課題の出現により大幅に遅れ、または、対応困難なものとなるなど目標を大きく下回ることとなり、施策課題の解決に向け停滞している場合		0	—
合 計			8	100

5
(62.5%)

2 施策の実施結果について

- (1) 【シニア世代が地域社会で能力を発揮するための支援】＜冊子(1)：(268頁)＞ 施策評価結果：A I
- (2) 【大学などの高等教育機関との連携の推進】・・・・・・＜冊子(1)：(270頁)＞ 施策評価結果：A II
- (3) 【臨海部の戦略的マネジメント】・・・・・・＜冊子(2)：(140頁)＞ 施策評価結果：A II
- (4) 【川崎殿町・大師河原地域の拠点整備】・・・・・・＜冊子(2)：(142頁)＞ 施策評価結果：A II
- (5) 【浜川崎駅周辺地域の拠点整備】・・・・・・＜冊子(2)：(144頁)＞ 施策評価結果：B
- (6) 【羽田空港再拡張・国際化に対応した基盤づくりの推進】＜冊子(2)：(150頁)＞ 施策評価結果：B
- (7) 【自治基本条例に基づく自治の推進】・・・・・・＜冊子(2)：(232頁)＞ 施策評価結果：A I
- (8) 【分権改革の推進】・・・・・・＜冊子(2)：(234頁)＞ 施策評価結果：B

川崎臨海部 全体図



羽田空港再拡張・国際化
に対応した基盤づくりの
推進

川崎殿町・大師河原地域
の拠点整備

浜川崎駅周辺地域
の拠点整備

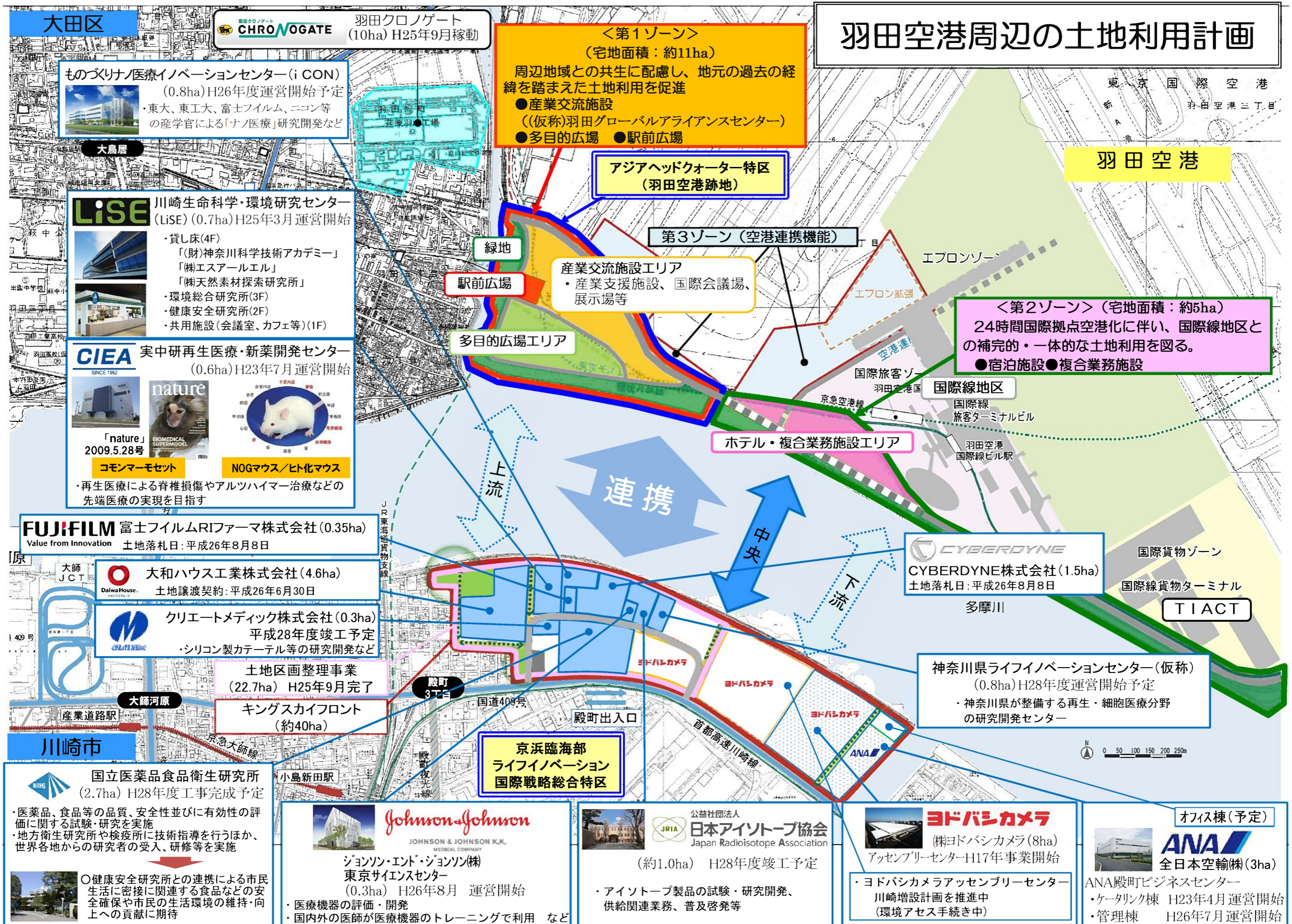
県立川崎南高校跡地

産業道路駅

浮島1期地区

臨海部の戦略的マネジメント

羽田空港周辺の土地利用計画



大田区

羽田クロノゲート (10ha) H25年9月稼働

<第1ゾーン>
(宅地面積：約11ha)
周辺地域との共生に配慮し、地元の過去の経緯を踏まえた土地利用を促進
●産業交流施設
((仮称)羽田グローバルアライアンスセンター)
●多目的広場 ●駅前広場

羽田空港

ものづくり医療イノベーションセンター (i CON)
(0.8ha) H26年度運営開始予定
・東大、東工大、富士フイルム、ニコン等の産学官による「ナノ医療」研究開発など

LiSE 川崎生命科学・環境研究センター (LiSE) (0.7ha) H25年3月運営開始
・貸し床(4F)
「(財)神奈川科学技術アカデミー」
「(株)エスアールエル」
「(株)天然素材探索研究所」
・環境総合研究所(3F)
・健康安全研究所(2F)
・共用施設(会議室、カフェ等)(1F)

CIEA 実中研再生医療・新薬開発センター (0.6ha) H23年7月運営開始
「nature」 2009.5.28号
コモンマーマウス NOGマウス/ヒト化マウス
・再生医療による脊椎損傷やアルツハイマー治療などの先端医療の実現を目指す

アジアヘッドクォーター特区 (羽田空港跡地)

第3ゾーン (空港連携機能)

<第2ゾーン> (宅地面積：約5ha)
24時間国際拠点空港化に伴い、国際線地区との補完的・一体的な土地利用を図る。
●宿泊施設 ●複合業務施設

駅前広場

産業交流施設エリア
・産業支援施設、国際会議場、展示場等

多目的広場エリア

ホテル・複合業務施設エリア

FUJIFILM 富士フイルムRIファーマ株式会社 (0.35ha)
Value from Innovation 土地落札日：平成26年8月8日

大和ハウス工業株式会社 (4.6ha)
土地譲渡契約：平成26年6月30日

クリエイトメディック株式会社 (0.3ha)
平成28年度竣工予定
・シリコン製カテーテル等の研究開発など

土地区画整理事業 (22.7ha) H25年9月完了
キングスカイフロント (約40ha)

京浜臨海部
ライフイノベーション
国際戦略総合特区

CYBERDYNE 株式会社 (1.5ha)
土地落札日：平成26年8月8日

神奈川県ライフイノベーションセンター(仮称)
(0.8ha) H28年度運営開始予定
・神奈川県が整備する再生・細胞医療分野の研究開発センター

川崎市

国立医薬品食品衛生研究所 (2.7ha) H28年度工事完成予定
・医薬品、食品等の品質、安全性並びに有効性の評価に関する試験・研究を実施
・地方衛生研究所や検疫所に技術指導を行うほか、世界各地からの研究者の受入、研修等を実施

Johnson & Johnson
JOHNSON & JOHNSON K.K. MEDICAL COMPANY
ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) 東京サイエンスセンター (0.3ha) H26年8月 運営開始
・医療機器の評価・開発
・国内外の医師が医療機器のトレーニングで利用 など

公益社団法人 **JRIA** 日本アイソトープ協会 Japan Radioisotope Association (約1.0ha) H28年度竣工予定
・アイソトープ製品の試験・研究開発、供給関連業務、普及啓発等

ヨドバシカメラ (株)ヨドバシカメラ (8ha) アッセンブリーセンター H17年事業開始
・ヨドバシカメラアッセンブリーセンター 川崎増設計画を推進中 (環境アセス手続き中)

オフィス棟(予定)
ANA 全日本空輸(株) (3ha)
ANA殿町ビジネスセンター
・ケータリング棟 H23年4月運営開始
・管理棟 H26年7月運営開始